

司書のおすすめ <<2025年版：大人の本>>

SEKI CITY LIBRARY

BOOK REVIEW

※2025年4月号～2026年3月号の図書館だよりで紹介した本



『本が大好きになる図書館の使い方』<2025年10月号>

つのだ由美こ／著 (秀和システム 2025.06)

場所：一般【010.4／ツノ】

図書館は本を読んだり借りたりするだけではないかも！

図書館や司書が出てくる映画を例にしながら、使い方や楽しみ方を紹介しています。自分さがし、新たな出会い、謎解き、きもだめしなど、いつもと違う、思いがけない利用方法が見つかると思います。

『ずっと幸せなら本なんて読まなかった』<2025年4月号>

三宅香帆／著(幻冬舎 2024.09)

場所：一般【019.9／ミヤ】

人生、いつも幸せとは限らないと思います。苦しい時、事前に備えたい時、変わりたい時、元気になりたい時などのシチュエーション別に、小説や漫画、エッセイなど 33 作が紹介されています。何か思うことがある時に読むと、心に寄り添ってくれたり、良い解決法が見つかる本に出会えたりするかも。

『短歌のガチャポン、もう一回』<2025年12月号>

穂村弘／著(小学館 2025.09)

場所：一般【911.1／ホーム】

ガチャポン（別名ガチャガチャ）は、大人も子どもも楽しめるカプセルトイのこと。そんなガチャポンを回すときのようなワクワクドキドキを短歌の形で受け取ってみませんか？著者が「いいな!」と思った明治から令和までの様々な読み手の歌が、まるでガチャポンを回しているかのように飛び出してきました。前作「短歌のガチャポン」からの続編です。

『料理からたどるアガサ・クリスティー作品とその時代』

<2025年8月号>

カレン・ピアース／著 富原まさ江／訳(原書房 2024.08)

場所：一般【930.2／ピア】

ミステリーの女王、アガサ・クリスティーはとても美食家で、多くの作品にイギリスの伝統料理や登場人物が好んでいた料理が登場します。

この本では、66の長編作品と一緒に当時の料理のレシピも紹介されており、お気に入りの場面や登場人物に思いを馳せながら料理を楽しむことができます。

『東京地下レトロ雑貨店へようこそ 1』<2026年3月号>

蒼月海里／著(角川春樹事務所 2025.10)

場所：一般【B913.6／アオ】

東京の地下には迷い込んだものしか入れない雑貨屋がある。雑貨屋の店主はすばらしい美貌を持つ魔女と呼ばれる女性。迷い込んだ客たちは彼女と不思議な雑貨に惹かれていき、やがてそれぞれの悩みを打ち明けていく…。心温まる連作短編小説です。

<<発行>>

関市立図書館 指定管理者 学校法人岐阜済美学院

TEL:0575-24-2529/FAX:0575-23-7780

E-mail:lib@city.seki.gifu.jp



『江戸時代のオタクファイル』<2026年1月号>

辛酸なめ子／著(淡交社 2025.02)

場所:一般【281.0/シン】

「オタク」は江戸時代にもいた!「オタク」という言葉が使われるようになったのは昭和になってからですが、特定の事に夢中になり、すごく詳しい人はいつの時代にもいたようです。例えば水戸黄門でお馴染みの徳川光圀は『美食オタク』。特に麺類が大好きだったとか。他には『地獄オタク』の臨濟宗の高僧や『茶屋娘オタク』の浮世絵師、『奇談オタク』の町奉行等々。25人のオタクたちが紹介されています。

『世界のお弁当とソトごはん』<2025年11月号>

岡根谷実里 // 著(三オブックス 2025.04)

場所:一般【383.8/オカ】

一番食べてみたかったのはノルウェーのトナカイ料理。赤いお肉と白い脂身がきれい。パプアニューギニアの揚げバナナは、腹持ちがよさそう。トンガではなんでも分け合う風習で、幼稚園では少数の子が持ってきたお弁当をクラスみんなで分けて食べてしまっても、どこからも文句が出ないんだって。世界のお弁当とそれに関わる事情あれこれです。

『星空の話 ころろにそっとよりそう』<2026年2月号>

永田美絵／著(イースト・プレス 2024.05)

場所:絵本【440.4/ナガ】

季節ごとの星座の見つけ方や星座に関わる神話、星や宇宙について、心温まるエピソードを交えながら、専門的なこともわかりやすい文章で書かれています。辛い時、人は下を向いてしまいがちですが、人間の脳は上を見上げると、落ち込む事は出来ないそうです。苦しい時や辛い時、夜空を見上げて月や星の優しい光に癒されてみませんか?

『神秘的で美しい海の生きもの図鑑』<2025年9月号>

茂野優太 // 写真 著 石野昇太 // 写真 著 井田齊 // 監修(ナツメ社 2025.07)

場所:一般【468.8/シゲ】

この本では、海の中の様子が鮮明に映し出されています。たくさんいる生き物の中から厳選された生き物たちの美しい姿だけでなく、簡単な解説も載っているため、生き物に詳しくなくても読めるようになっています。海の中の涼しげな写真を見るだけでも暑い気持ちが和らいでいくような、暑い時期におすすめしたい一冊です。

『電気の疑問 66』<2025年5月号>

オーム社／著(オーム社 2024.06)

場所:一般【540/オム】

私たちの生活に欠かせない電気。知っているようで意外に知らないことも多いのではないのでしょうか。スマホを振ると電波が入りやすくなるのか?雷は何色か?その他、身近な家電製品の事から、宇宙の事まで様々な疑問に専門家がわかりやすく答えてくれます。

『フランス料理図鑑歴史、食材、調理法、郷土料理まで』

<2025年7月号>

山口杉朗／監修(日本文芸社 2024.06)

場所:一般【596.2/フラ】

世界的に有名で、無形文化遺産にも登録されているフランス料理。知っているようで意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。フランス料理の歴史はどこから始まったのか、どんな食材・調理法が使われるのか、どんな郷土料理があるのか、フランス料理に関する情報がイラストで優しく学べます。各地域によって使う食材が全然違って、食べ比べてみたいくなります。

『世界 28 言語図鑑 多言語を学ぶためのガイドブック』

<2025年6月号>東京外国語大学ワールドランゲージセンター／編

(大修館書店 2024.09)場所:一般【800/トウ】

英語は学校で習うけど、他の言葉を勉強するには、どんな本やウェブサイトを見たらいいかわからない。そう思ったことはありませんか?この本では、世界28言語のあいさつや文化を知ることが出来ます。その言語を学ぶ上でおすすめの本やウェブサイトも紹介されています。世界を知る入門書としても使えます。

